

——■前を向いて歩こう、戦利品がこぼれないように■——

世間の携帯電話が大部分スマホに変わり、さらにそのスマホ上で遊べたり、利用できる常時接続型のアプリが普及するに至って、我々は歩いている最中でも端末を持ち、頻繁に視線を落としながらというのが普通になってしまった。コミケットの会場でも、ずっと端末を注視したまま移動している参加者はかなりの数になるだろう。

コミケットの会場に至る交通機関は非常に混み合う。その駅のホームや階段も同様だ。会場内では決して広いとは言えない通路の両側にサークルが並び、その間を大勢の参加者が思い思いに移動している。しかもその参加者の多くは、大きなカバンやキャリーバッグやバックパック等の荷物を持っている。

そういった過密状態の会場内や駅のホーム、階段などの場所では、些細な接触やつまづいた、といったことが重大事故を引き起こしてしまう危険性が極めて高い。そこに複数の、端末の画面しか見ていない人が周囲に注意を払わずに突入してきたら……。あなたがその事故（もちろん、発生したら高確率でコミケットは中止となる）の発端や犠牲者にならない保障などどこにもない。

加えて現在のコミケットでは、会場の改修や周辺の再開発もあって、会場内外の移動ルートや待機場所が毎回のように変更されたり、参加者の増加によってホール内につくられる大手サークルや企業の行列が非常に過密になっている。

そういった場所では、コミケットのスタッフが誘導にあたっているが、画面を注視し、あまつさえ耳をヘッドホン（イヤホン）で塞いでいる人は、そんな注意や案内も極めて届きにくくなってしまおう。

（しかも本人はそのことに気づいていないか、自分は周囲の状況をきちんと把握できている、と思いこんでいることが多いので、ますます周囲に無関心になってしまいがちだ）会場やその周辺で、周囲に注意を払わないのは自分にも、周囲にもデメリットの方がはるかに大きい。

コミケットが『特別な場』である、という意識をあなたが持っているならば、コミケットに参加する1日は、普段以上に、歩いている間はヘッドホンは外す、画面よりも周囲に目を向ける、ということをお心がけてほしい。

コミケットには無数の本があり、賑やかなコスプレイヤーたちもいるのだから、せっかくならそういうコミケットならではのぎやかな外部情報も楽しんでほしい。また、逆に会場内で困っている人や、体調を崩している人が居るかもしれないが、そういうSOSに気づいたら、遠慮なく手助けをしてあげよう。それができたら、あなたはコミケットという場そのものと常時接続した、真の意味でコミケットの参加者となる。『コミケのベテラン』というのは、そんな参加者のことだ。



冬コミ用持物リスト Comi-Navi.comの『過去の記事など』コーナーより。

以前C85/86の記事に掲載した推奨持物リストです。
自分の参加スタイルに合わせて適宜追加・除外して最適化して下さい。



●スタッフ曰く、『スタッフが言っていた』はダウト。

以前から掲示板などでもあったことではあるが、twitterなどの匿名性SNS上で、コミケットや同人活動などについて『コミケットのスタッフに訊いたら●●でした』と、あたかもその見解が結論であるかのように挙げる事例が目につく。

しかし、コミケスタッフと一言でいっても、共同代表から今回初めての人まで3千人以上いるわけだが、その一体誰からの情報なのだろう？

コミケットは可能なかぎり、表現や同人活動の内容、方法に制限を加えないポリシーを貫いている。つまり『コミケットの公式見解とスタッフ個人の見解は必ずしもイコールではない』ということをお常に念頭に置いて、情報に接しなければ誤報に踊らされてしまうかもしれないのだ。

